

女性活躍や男女共同参画に関する、あま市の取組や豆知識をご紹介します。

女性活躍推進をテーマにした人権推進課の事業をご紹介します！

● 女性のための起業セミナー



起業のプロから初心者でもわかりやすいよう、全3回にわたってステップアップしながら起業について学びました。

● 女性活躍交流会



女性活躍情報誌で取り上げた方をお招きしてお話を聞き、ご質問もさせていただきました。

男女共同参画基本計画

男女共同参画基本計画は男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）に基づき作成され、令和2年7月には「第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）」が発表されました。基本的な方針において目指すべき社会として「あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、SDGsで掲げられている包摂的かつ持続可能な世界の実現と軌を一にした取組を行い、国際社会と協調する社会」と示されていることから、第5次男女共同参画基本計画でも、引き続き女性の活躍が男女共同参画社会の実現に向けて大きな役割を担っているといえます。

高校生と大人たち、あま市で暮らす市民記者が取材しました！

今年で4回目となる女性活躍情報誌。取材をして記事を書いたのは8人の市民記者のみなさん。五条高校、美和高校に通う高校生とあま市在住の大人たちが参画してくださいました。取材前にはプロの記者による講座を実施。市民の皆さんが素敵だと感じた等身大の声でつくられた情報誌です。

● 取材前の講座



● 取材の様子



@ MyLife vol.4

きっかけは思いがけないことから

まちづくりに興味を抱いたきっかけは、中学生の時に参加したあま市市民活動祭でした。そこには、たくさんの「まちを良くしよう」と考えて活動している人がいて、初めて知る世界に感動したんです。その時、ボランティアを通して、自分自身がまちや人のために行動することの楽しさにも気がつきました。

あま市に育てられて

高校時代には、高校生も社会人も一緒に議論をする「市民ミーティング」に参加をしました。まちの未来について、年齢問わずあれこれと話し合い、高校生の声も積極的に取り上げてもらえて。「私たちも声をあげることができるんだ」と実感し、まちづくりに参画する意欲がますます湧いてきました。

まちづくりへの一歩

大学生になり、学生主体のまちづくり団体をつくりたいという思いが強まってきました。仲間と一緒に「あま市 de 学生まちづくり」という団体を立ち上げ、活動しています。「あま市に集中して勉強できる場所があるといいな」高校生の頃にそんな思いを抱いたのをヒントに、中高生も大学生も使える自習室を開く企画を実施しました。ひとつの活動から少しずつ思いを広げて、あま市をもっと素敵なまちにしていきたいです。

【プロフィール】中学時代よりあま市のボランティア活動などに積極的に参加し始める。現在は岐阜大学地域科学部に在籍するかたわら、「あま市 de 学生まちづくり」のメンバーとして活動。あま市市民活動センターのアルバイトスタッフ。

撮影場所／あま市市民活動センター
市民記者／五条高校 黒川結芽、鈴木ちひろ、藤田梨々華



市民記者のヒトコト
まちづくりへの熱い思いが、周りを動かすのだと思いました。

林さんの元気のワンポイント

小さなことからコツコツと！

まちづくりはみんなの幸せづくり

はやし はつね
林初音さん

「あま市 de 学生まちづくり」活動情報発信中！



歌から広がるつながりの和

みぞぐち よしこ
溝口 良子 さん

“文化をつくる” 思いを現実に

子どもが好きで、長年、小学校の教員として勤めてきました。退職後も、中学校で3年間、生徒の相談役に。今は、小学生が安全に登校できるよう見守り隊に参加し、毎朝挨拶を交わしています。仕事のかたわら、昔から歌うことが好きで、合唱団での活動を続けてきました。「歌をあま市の文化として広げたい」「合唱を通じて、人とのつながりを深めたい」そんな思いが芽生え、女性合唱団「虹のかけはし」をつくりました。

世代を超えて重なるハーモニー

「虹のかけはし」では、美和文化会館で開催する定期公演をはじめ、たくさんのコンサートを行ってきました。美和中学校の生徒700人が参加してくれたコンサートは、とても思い出深いですね。2021年には、海部少年少女合唱団との合同コンサートも予定しています。様々な世代の人と歌を通じて関わることがとても楽しい。年齢も性別もバラバラでも、メンバーの歌声がひとつに重なる時の気持ち良さこそが合唱の醍醐味だと思います。

歌声に乗せて文化あふれるまちづくりを

毎週日曜日の午後2時から4時まで、美和公民館研修室に集まり練習しています。新団員も募集中です。日本の唱歌、世界の民謡、この地域の唱歌の「海東唱歌」などを、名古屋音楽大学の照喜名先生の指導を受けて歌ってきました。歌の上手さよりも、リズムに合わせて楽しむ一体感や調和を意識しています。参加すると、仲間と共鳴する一体感や心地よさ、発声するよろこびを感じられますよ。歌声にのせてみなさんの健康づくりとあま市の音楽文化の発信、文化あふれるまちづくりに貢献したいです。

【プロフィール】小学校の教員として長年勤務、合唱団「虹のかけはし」代表、あま市シルバーカレッジでは副学長を務める。交通安全指導員「見守り隊」としても活躍中。毎朝登校する子どもたちの安全を守り、横断歩道で黄色い旗を持って立っています。

「虹のかけはし」団員募集中
お申込・お問合せはコチラまで Tel: 052-444-4985

撮影場所/あま市美和文化会館
市民記者/朱宮里美、宮崎勝介

市民記者のヒトコト

歌の良さや合唱の楽しさをイキイキと話す溝口さんの姿に、活力を貰いました！



溝口さんの元気のワンポイント

子ども達と交わす挨拶が一番のよろこび！

自分の悩んだ経験がきっかけに

はじめての子育ては分からないことばかり。助けてくれる人がいると嬉しいですね。私もそう思っていました。「もっとママが主体的にサポートしあえるといいな」そんな思いで、子育て支援団体「ミルクキーねっと」に参加して活動を続けてきました。次第に、自分でやってみたいと思えることもできて、同じ思いの仲間と一緒に「にこり park」をスタートさせました。

ママやパパを笑顔に

「にこり park」の活動として、例えば「大人が主役の運動会」があります。大人たちが一生懸命になって、キラキラした笑顔がみられるんですね。発泡スチロールにできるだけ大勢で乗る競技では、必死に落ちない工夫をしていたり、本気で走ったり、跳んだり。そんなキラキラした姿を子どもに見てほしい。ニコニコが溢れているおうちの方が、子どもも健やかに成長してくれますし。そんなきっかけがくれたらと思っています。

笑顔を伝えたい！

子育ては簡単なことじゃないですね。親になったからといって、子育ての専門家になるわけじゃない。どうすればいいか不安になることもあると思います。私たちは、そんな人たちの助けになって、結果的に子どもの心の成長もサポートできる活動がしていきたい。ママやパパの笑顔が連鎖して、ポジティブになれる場所をこれからもつくっていきます。

【プロフィール】2018年に子育て支援団体「にこり park」を立ち上げる。「子育てサロン」「おさがり広場」など活動は様々。3児の母として奮闘する一方で、バランスボールの講師でもある。主婦、子育てボランティア、講師と3つの活動に日々邁進している。

「にこり park」活動情報発信中！



ブログ



Instagram

撮影場所/七宝児童館

市民記者/美和高校 永野妃莉、畑中響、山田優羽

楽しんで子育てを！

みうら
三浦 あかりさん

市民記者のヒトコト

インタビューを通して楽しんで活動をしているんだと感じました。



三浦さんの元気のワンポイント

全力でやりたいことを楽しむ！